

## 9. 山陽須磨駅 <須磨の海岸>

山陽須磨駅を下車し、すぐ南側のJR須磨駅の階段を上り、駅構内を進むと海が見える。ここからヨットハーバーまで約2kmの浜辺が、有名な須磨海水浴場である（写真1）。

海岸に降り遊歩道をしばらく東に歩くと、赤い建造物が見えてくる。明治4年に和田岬に建てられた木製灯台が、明治17年に鉄骨製に建て替えられた。その灯台が、昭和38年に海岸埋め立てで廃灯になったのを機に、この地に移築保存された。現存する鉄骨灯台では日本最古で、有形文化材や近代化産業遺産に登録されている。近づくとなかなか迫力がある（写真2）。



写真2 旧和田岬灯台



写真1 須磨海水浴場

さらに東へ歩くと、須磨海浜水族園（通称スマスイ）だ。今は本館のみ営業しそれ以外は撤去中で、3年後のリニューアルオープンに向け大工事中であった。

海水浴場や水族園の海岸一帯は、コロナ緊急事態宣言や工事の影響で、夏のバカンスシーズンとは思えないほど閑散としていた。以前のように子供や若者でにぎわい活気があふれるエリアに、早く復活してほしい。

（内藤 雪夫 記）